

記憶力査定後の所感

鷺 山 さ ん

きのふ花子さんは千代子さんのおうちへ遊びにゆきました。千代子さんは風邪をひいて寝て居ましたので、花子さんはおうちへ歸つて本を読みました。

上記の話を一回ゆつくり話して聽かせ直ちに記憶を辿つてその話をさせて見ました。その結果何の苦もなくすらく話せた子供もあるし、何が何やらさつぱりわからなかつた子供も澤山ありました。唯之だけのテストでありながらその子供の素質が種々の方面から首肯されて、幼稚園教育上の参考にしていただき度い事を二三發見いたしましたので左に記述させていただきます。

1、意味構成の力Ⅱ假令簡単なことながら纏つた一つの意味を耳から聽き入れつゝ頭の中でその意味を構成してゆく力がなければ、このテストには合格しえないのであります。漫然と耳にきこえたこといふだけでなしに、聞くと共にその話の意味を構成してゆくこと、之は非常に大切なことでこの力があつてこそ始めて所謂記憶といふ作用は生じて来るものでありませう。物心がつく頃から注意せねばならぬことではあるが、幼児教育に於てはこの點に注意して幼児に應對をしていたゞき度いと思ひます。いゝ加減な聽方でなく、丁度物の姿が明瞭に鏡に映つるやうに明瞭に聽かせてゆかねばならぬものであります。

2、發表の力Ⅱ正確に構成された意味を秩序正しく發表してゆくこといふ事にも練習の必要を大いに認める次第であり

ます。折角構成された意味が発表力の拙いために話す事が出来ぬこいふ事は大人の世界にもよくある事でござい
ますが誠に残念な事でありませう。一旦聞き入れた所をそのまま発表させるこいふ機会を多く與へないために、所謂「思
ふこいふが言へない」こいふ型の子供にし勝ちであります。発表こいふこいは受納した知識を確める事でありませう
ら素質は更に練磨されて將來に伸びる一階梯になります。

3. 注意力Ⅱ検定の室には數人の委員が種々の能力を査定してゐましたのでなかく騒がしい事もありました。然し
注意を集注しうる子供は只管に私の顔を見詰め、語られる意味に全心を集注して居ります。散漫な子供は八方に心
が散つて居ります。随つて大切な意味の構成が不可能になり勝ちになります。注意散漫の幼児には特別に心をかけ
て何こか注意を集注させる機会を與へてゆかねばならぬものと思ひます。

4. 發音Ⅱ所謂甘へた發音をする子供は今度の検定にはあまり發見いたしませんでした。それでも拗音が混ざつた
りラ音がダ音に變化したりすることも幾分かはありました。甘へた發音をする子に限つて意志や動作がしつかりせ
ぬ例もよくありますから、言葉の發音によく注意する事も必要な事と思ひます。

以上は特種小學校への入學準備であつては價値は半減される憾みがあります。心身保育の内容として御心掛けいたゞき
ます事は小學教育を擔當する私共の希ふところでありませう。